

G-SCAN 2

取扱説明書 (GM USA編)

もくじ

ご使用になる前に	1
はじめに.....	2
安全にご利用になるために.....	3
車種、システムを選択します.....	5
診断機能	12
作業サポート機能.....	13
<<O2センサーヒーター学習>>.....	13

ご使用になる前に

はじめに.....	2
安全にご利用になるために.....	3

はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、GM USA車の診断機能に関してご説明させていただきます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

ご使用になる前に

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストはGM USAのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテスト、サービスリセットは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

車種、システムを選択します

診断の準備

- 1) メインメニューから『車両診断』を選択してください。



〈図：車両診断を選択〉

- 2) メーカー選択画面が表示されます。GM USA を選択してください。



〈図：メーカー選択画面〉

3) 下図の様にポップアップが表示されます。



〈図：ポップアップ表示画面〉

4) ここでは、自動選択を押した場合について説明します。
自動選択を選んだ状態で OK ボタンを押してください。



〈図：自動選択画面〉

- 5) VIN(車台番号)を読み込みます。しばらくお待ちください。



〈図：VIN読み込み中の画面〉

- 6) VIN の読み込みが完了すると、下記の様に表示されます。内容を確認して実行ボタンをください。



〈図：VIN読み込み完了後の画面〉

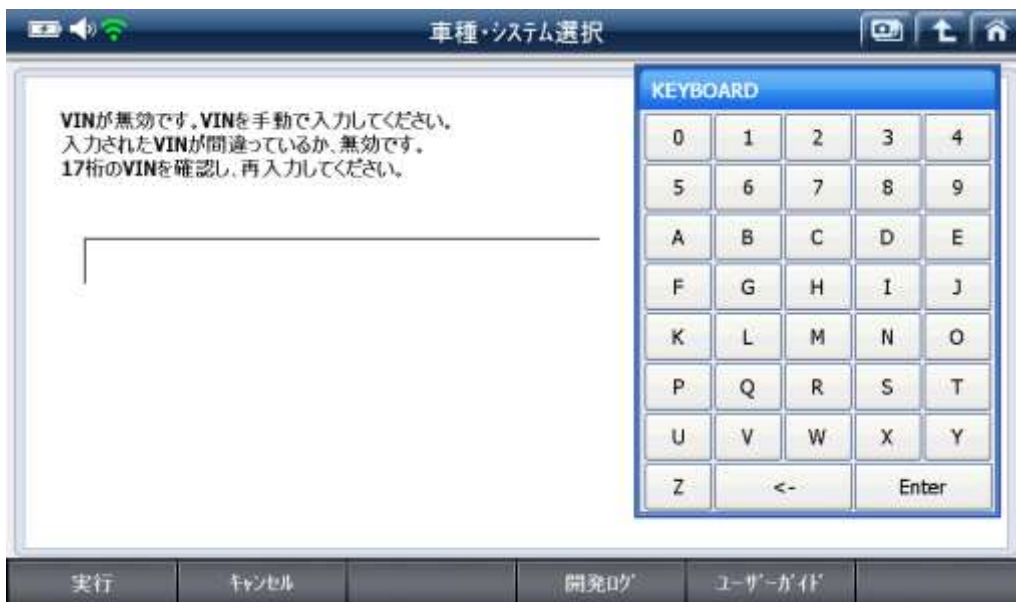
※注意と補足※

- ・ VIN の読み込みに失敗した場合、下記のように表示されます。手動で VIN 情報を入力してください。



〈図：VIN情報入力画面〉

- ・ 入力しても VIN を読み込めない場合は、下記のように表示されます。注意事項を確認して再度入力するか、キャンセルボタンを押して手動選択から実施してください。



〈図：VIN情報再入力画面〉

7) 実行ボタンを押した後、下記のように表示されます。システムサーチが実行されます。



〈図：システムサーチ画面〉

※注意と補足※

- ・ システムサーチについては、G-scan2 取扱説明書(本体編)を参照してください。

8) ここでは、手動選択を実施した場合について説明します。

手動選択を選択して OK ボタンを押してください。



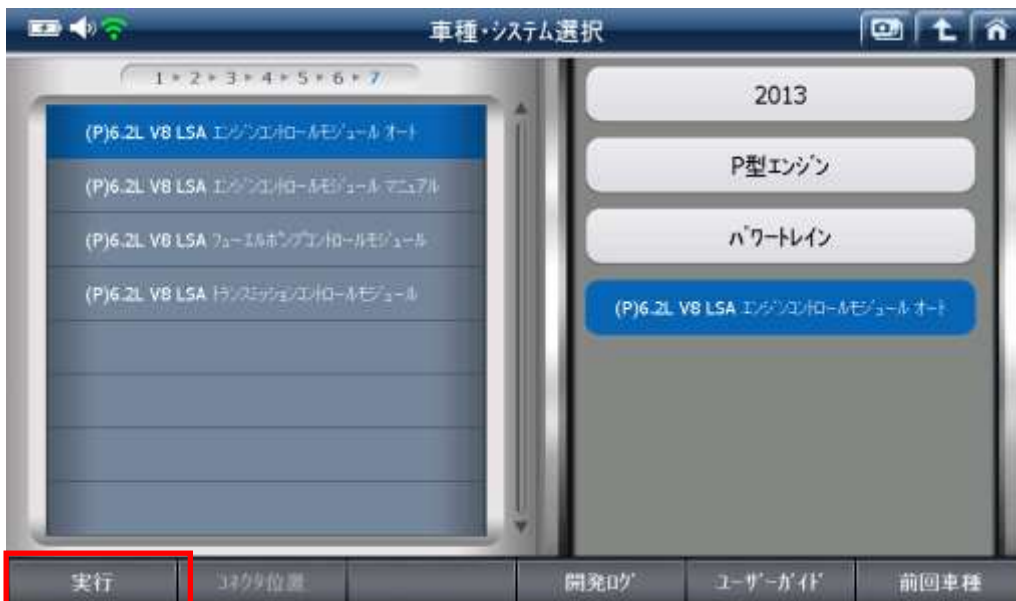
〈図：手動選択画面〉

9) OK ボタンを押した後、下記のように表示されます。



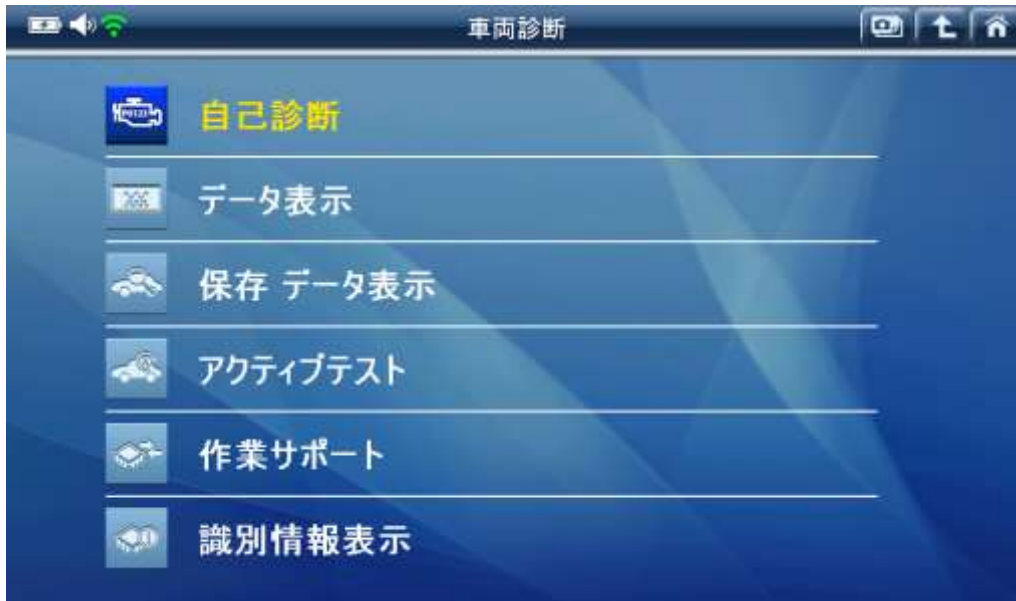
〈図：手動選択画面〉

10) メーカーなどを選択し、該当するシステムを選択した後、実行ボタンを押してください。



〈図：システム画面〉

- 11) 選択したシステムとの通信が出来た場合、下記のように表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

※注意と補足※

- ・ 手動で選択する場合の参考にしてください。
診断する車両が「乗用車」の場合は VIN の 4 番目、「LD トラック・MPV・インコンプリート」の場合は 5 番目の値を選択してください。
VIN の 10 番目値を見て対応年式を選択してください。
VIN の 8 番目に該当する値を見て診断するエンジン型式を選択してください。

<サンプル>

タホ VIN:1GNFK13007XXXXXX

上記の車両のエンジンシステムと診断する場合は、

「LD トラック・MPV・インコンプリート」→「シボレー」→「K」→「2007」→「タホ」→
「パワートレイン」→「(0)5.3L V8 LMG エンジンコントロールモジュール」
と選択してください。

診断機能

ご使用になる前に	1
はじめに.....	2
安全にご利用になるために.....	3
車種、システムを選択します	5
診断機能	12
作業サポート機能.....	13
<<O2センサーヒーター学習>>.....	13

作業サポート機能

診断機能



警告

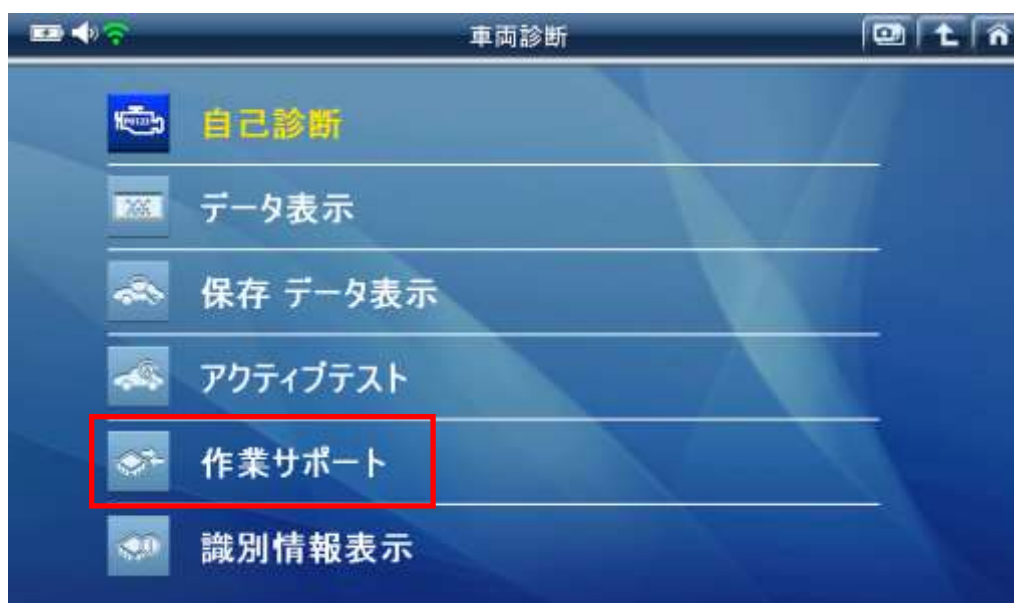
- 作業サポートはGM USAのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目については、製品サイト:G-scan.jpを参照してください。

<http://g-scan.jp/g-scan/system-gmusa.html>

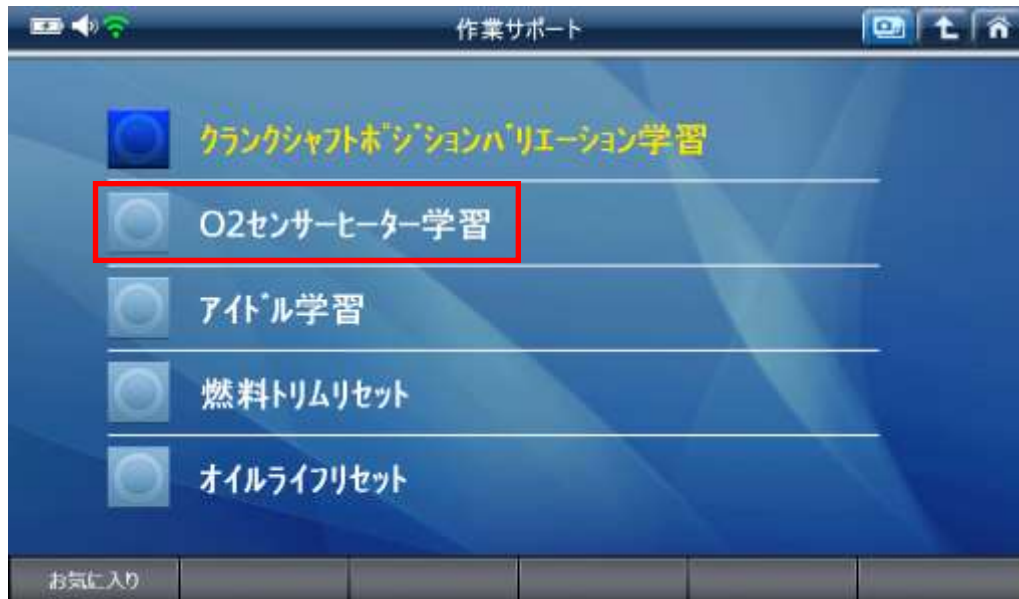
<<O2センサーヒーター学習>>

- 1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択してください。



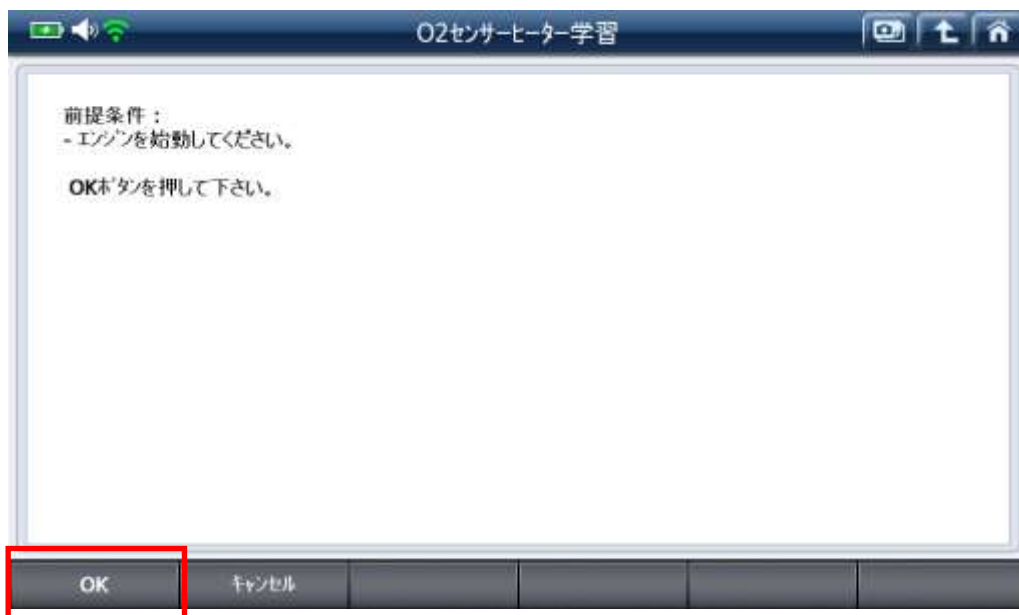
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 2) 作業サポート項目が表示されます。ここでは、O2センサーヒーター学習の場合について説明します。O2センサーヒーター学習を選択してください。



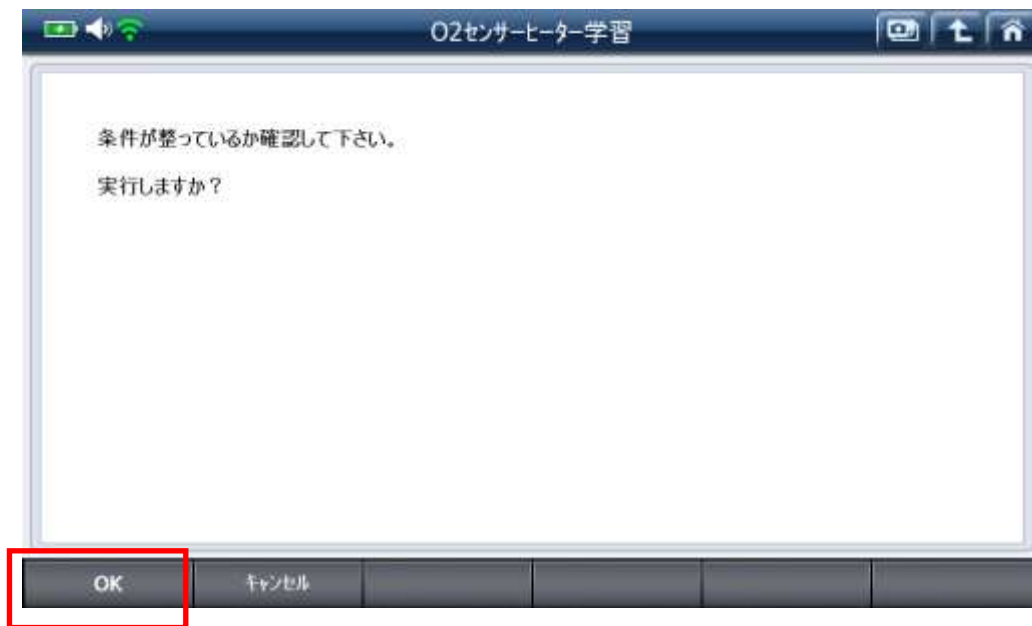
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 3) O2センサーヒーター学習を実施するための条件などが表示されます。条件を合わせたらOKボタンを押してください。



〈図: O2センサーヒーター学習 確認画面〉

4) 再度注意事項が表示されます。実行する場合はOKボタンを押してください。



〈図: O2センサーヒーター学習 再確認画面〉

5) 実行が完了したら、下記のように表示されます。OKボタンを押すと、作業サポート項目画面に移ります。



〈図: O2センサーヒーター学習 実行完了画面〉



株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 →②(ナビダイヤル※)

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 →①(ナビダイヤル※)

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2016年7月発行 第2版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-34-2